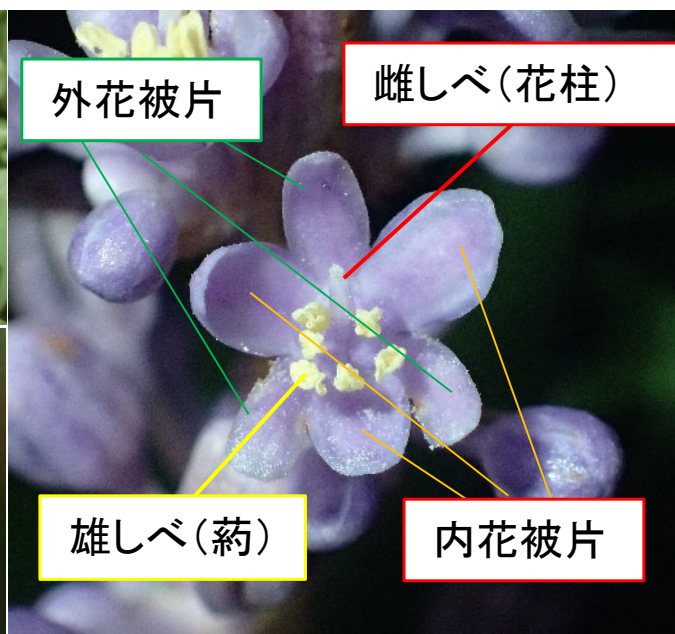


ヤブラン

クサスギカズラ科

山地の木陰に生える常緑多年草。線形の葉の根際から30〜50cmほどの花茎を伸ばし、薄紫色の小さな花を穂状に多数咲かせる。

園内の花期は7月中旬から9月中旬頃までと長い。



花は内花被片3枚、外花被片3枚からなり、傍目には黄色の葯が目立つ。

小さな花にもキムネクマバチ(上)やホソヒラタアブ(下)などの昆虫が訪れる。

11月頃、種子が黒く熟す。

一見、実のように見えるが、実の皮は熟す前に脱落してしまい、むき出しになった種子が緑から黒に熟していく。



種子(11月)